

東京都で活動する相談支援専門員の態度と姿勢は…

- 1) 一人ひとりの「暮らし」を知るために、障害当事者の声を聴く
- 2) 本人の思いや将来に向けた願いを受け止める
- 3) 本人とともにあらゆる社会資源を活用し、創り出す
- 4) 障害者ケアマネジメントの理念を具現化する役割を持つ
- 5) 本人自身が力を発揮できるようエンパワメントを支援する
- 6) まだ出会っていない、支援を必要とする人々の存在を想像する
- 7) 地域で人々が交流し、育ち合う中心になる

相談支援と地域

東京という地域

自分の地域

相談支援専門員は、

- 1) 地域を出発点とし、地域の強みと課題を把握して、ニーズに向き合う
- 2) 利用者一人ひとりのニーズは地域のニーズと知っている
- 3) 地域（自立支援）協議会を地域課題解決のツールとして活用する



- 「本人中心」 : 本人の思いや願いに寄り添い、本人中心の支援を行う
- 「社会モデル」 : 障害を社会の状況・環境との関係の中で理解し、とらえる
- 「エンパワメント」 : 本人が持っている力を信じる
- 「権利擁護」 : 人としての存在と尊厳を守り、あらゆる人権を尊重する
- 「地域に根ざす」 : フィールドとする東京都及び区市町村の地域性の把握と、地域福祉の向上に努め続ける

価値

【相談支援専門員の土台となるもの】

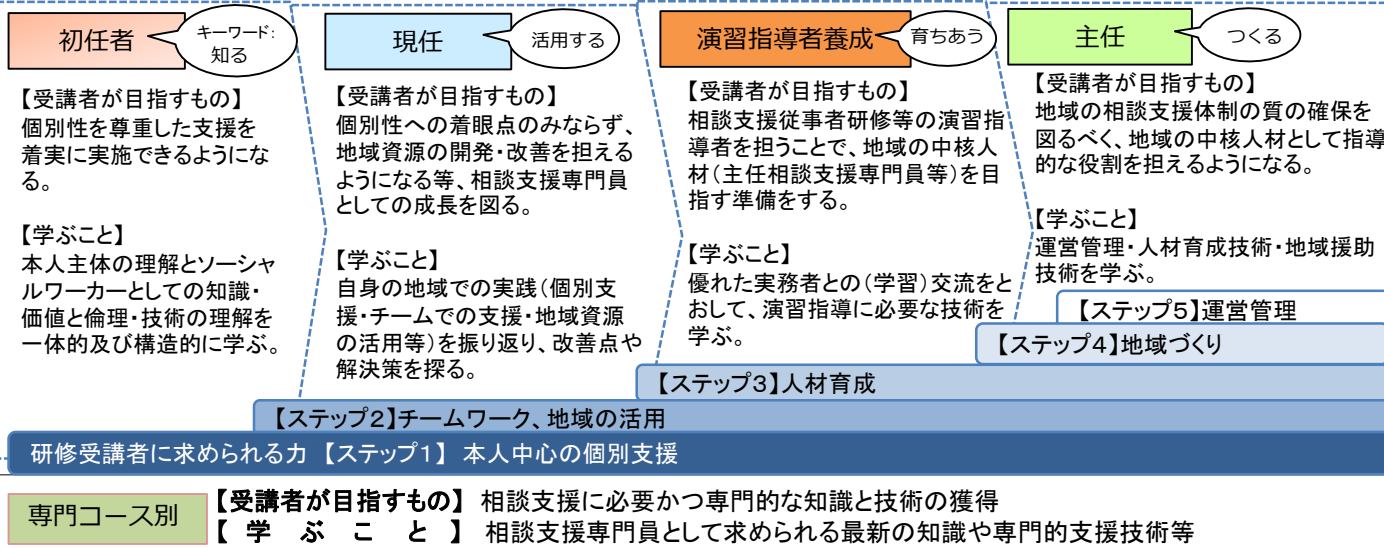
- ・東京都における障害福祉の歴史
- ・本人が暮らす地域とその社会資源の理解
- ・本人を理解するための、障害についての知識
- ・ケアマネジメントプロセスの基本的理解
- ・法制度や福祉サービスの知識

知識

- 1) 本人と信頼関係を構築できる
- 2) 基本的な面接技術に習熟している
- 3) ニーズを的確に捉えることができる
- 4) わかりやすい計画を立案できる
- 5) サービス提供者や行政等と協働する力がある（交渉・調整）
- 6) 個別支援で得た地域課題を協議会等のネットワークを通じて積極的に発信・共有できる
- 7) 地域で人々が交流し、育ち合う働きかけができる（ファシリテーション、スーパービジョン）

技術

【東京都の研修のしくみ ～相談支援専門員もエンパワメントのプロセスをたどる～】



【国が考える地域や立場の違いによる相談支援専門員の役割】

